

震災対策と子どもの貧困対策について問う



横山幸次

問 区・店主が、商店街として店铺の連続性を守つていいかといと考
えている地域の、街並みを維持し
ていく規制について見解を問う。

答 商店街を維持し、街並みを向
上させていくには、都市計画の規
制や建築協定という形などがある
基本である住民合意に努めるため
商店街の意見を十分把握し、調査
検討する。

小中一貫校と学校教育制度の多様化及び弾力化を問う

問 小中一貫教育推進事業を事務事業に掲げ、成果を認めながら、8年間広がらなかつた課題は何なのか。法改正が見込まれる中現状と今後の展開を問う。

答 確実な学力の定着や豊かな社会性や地域を愛する子どもの育成という成果の一方、9年間の人間関係の固定化等の課題がある。今後、国の動向を把握しながら研究を継続し、汐入地区以外への小中一貫教育拡大の可能性も検討する

街並み規制、小中一貫校と学校教育制度の多様化及び弾力化を問う

問 住宅等の耐震化率90%の目標の期限まであと一年だが、進捗状況を問う。また、危険度の高い地域での非耐震住宅・アパート等の分布等のきめ細かい分析による対策の実施や、耐震化工事90%助成を全区に拡大することを求める。

問 防災行政無線システムにおける戸別受信機設置やシステム全体の改善についての検討をすること
答 防災行政無線には各種対策を講じてきた。また、戸別受信機は高齢者施設等に新たに設置するさらに防災情報システムの在り方を調査しており、新たな情報伝達手段について早期に内容を固める。**問** 家具転倒防止支援事業の補助額を現在の1万円から3万円程度に引き上げるとともに、感震ブレーカーの設置補助を創設すること
答 今年度から、福祉避難所名簿登載者で区民税非課税世帯の助成

各「壱」「ニ」「三」「四」「五」の二種に支綴
肖洞の計画を具体化すること。

問 子どもの貧困対策を問う
一歩として、区内の18歳未満の
どもの貧困の実態を把握し、貧

上限額を2万円に引き上げた。震ブレーカーは、スマートメニューの実験データを踏まえ検討す

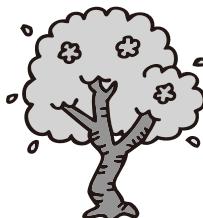
の確保に取り組むこと。
答 子どもの居場所づくりに取り組む団体に平成27年度から必要な支援費を交付する。



あらみい あら坊

各一般質問の詳細については、現在作成中の会議録ができしだい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。

また、荒川区議会ホームページ (<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>) で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。



あらみい あら坊

ができしだい、区立図書館
及び区役所2階の情報提供
コーナーにおいて閲覧でき
ます。

また、荒川区議会ホームページ
(<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>)
で平成13年5月以降の本会
議録を検索することができます。
あわせてご利用ください。

荒川遊園運動場の整備について
の陳情

・理容所・美容所に洗髪設備等を
追加することに関する陳情

趣旨採択

・労働者保護ルールの見直しに
ついて慎重な対応を求める意見
書の提出についての陳情

採択した請願・陳情

- ・保育料の現状維持を求める陳情
- ・荒川区民が安心して暮らせるよう
とを求める陳情
- ・高齢者施策の切り下げを撤回し、
拡充を求める請願

採択した請願・陳情

予算の審査経過

平成 27 年度 予 算 を 可 決

